

## 平成30年度試験研究課題の外部専門家との意見交換について

### 1 開催概要

- (1) 開催日 平成30年7月19日(木)
- (2) 場 所 教育会館本館5階会議室
- (3) 外部専門家 (公財)海洋生物環境研究所 日野 明德 顧問  
 (国) 東京海洋大学 田中 栄次 教授  
 (国研)水産研究・教育機構  
 中央水産研究所 錢谷 弘 業務推進部長

### 2 検討課題と主な質疑

#### (1) 課題名 房総近海におけるカツオの漁場形成と水温、水色の関係の解明(事前検討課題)

質疑	応答
カツオが漁獲された場所に偏りがあった場合、どう補正をかけるのか。 自動的に図化させるとはどういうことか。 漁獲量の違いをどう反映させるのか。	その状況になった場合に判断したい。  水温・水色で数字データとして出ているものを自動で地図に色付けさせることを計画している。 トン数で色を変えるなど対応したい。

#### (2) 課題名 ノリの呈味簡易判別方法の開発と千葉海苔の味の特徴の把握(事前評価)

質疑	応答
今回の成果を世の中にどうアピールするつもりか。  今回の研究はアミノ酸の抽出方法が出来なければ進まないが、予備試験は行っているのか。	今回の研究の目標は、味がいいという評価を科学的見地から証明することであり、基礎研究だと考えている。 過去には水を使用して抽出した論文もあり、抽出については可能であると考えている。

#### (3) 課題名 キンメダイの資源量推定に基づく管理方策の構築手法の開発(事後検討課題)

質疑	応答
非常によくまとまっている。成果をどう実践させるかが重要。 一部サンプル数が少ない所があると思うが。 放流サイズを大型化するというのは非常にきめ細かい対応だと思う。今後は売り方の戦略を考える段階に来ていると思うので、ぜひ検討してもらいたい。	一部地域では取組に前向きであるので、県としても実践への支援をしていきたい。 今後もサンプル数を増やしてデータを充実させていきたい。 検討していきたいと思う。